

今冬の北陸エリア電力需給実績

2020年3月31日
北陸電力株式会社

当社は、今冬の北陸エリアにおける電力需給実績について取りまとめましたので、お知らせいたします。

当社は、志賀原子力発電所の運転停止が継続する中、安定供給の確保に努めてまいりました。

これに加え、今冬は天候等の影響により電力需要が想定を下回ったこともあり、安定した電気をお届けすることができました。

今後も、当社としては電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。


お客さまにおかれましては、電気の効率的なご使用にご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以 上

別紙：今冬の北陸エリア電力需給実績の概要

今冬の北陸エリア電力需給実績の概要

2020年3月31日

こたえていく。かなえていく。  北陸電力

1. 今冬の需給バランス

1

- 今冬（12～2月）の北陸エリアの最大電力は、2月6日（木）9時～10時の512万kW
- 同日の供給力は565万kWとなり、10.5%の予備率を確保

[万kW]

	最大電力発生日 2/6（木）実績	2月見通し	（参考） 予備率最小日 1/14（火）実績
供給力	565	574	458
最大電力	512	542	435
予備力	53	31	24
予備率	10.5%	5.8%	5.5%

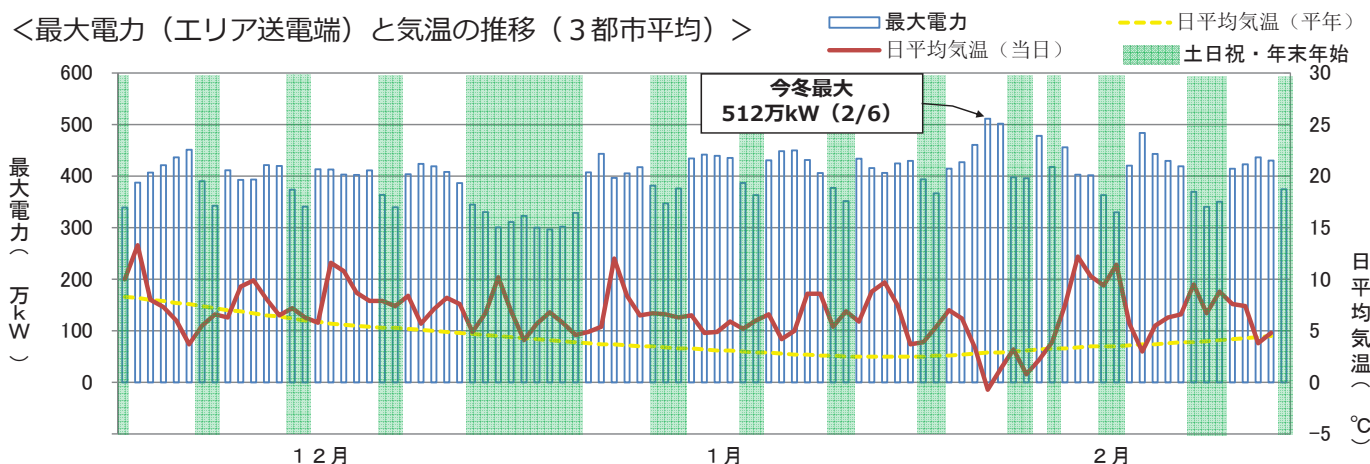
※ 実績は一部推計値含む

※ 「2月見通し」は2019年度供給計画値を基に厳寒による需要増を考慮（2019年11月6日公表値）

※ 四捨五入の関係で合計が合わないことがある

- 今冬は、期間を通して暖冬・少雪となり、気温は平年に比べ高かった。降雪量についても、平年に比べ少なかった。
- 電力需要については、今冬最大として2/6（木）に最大電力 512万kW を記録したものの、冬季最大を更新した2017年度（541万kW）に比べ30万kW程度下回った。

<最大電力（エリア送電端）と気温の推移（3都市平均）>



<気象状況（富山・金沢・福井の3都市平均）>

（ ）内は平年との差

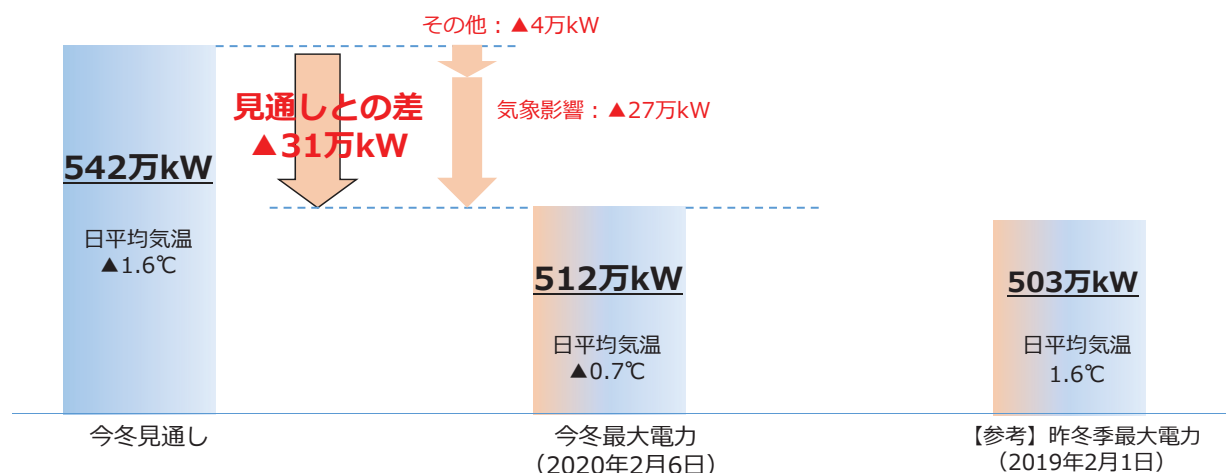
	日平均気温 [°C]			降雪量 [cm]		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月
2019年度	7.7 (+1.5)	6.4 (+3.2)	5.9 (+2.5)	0.7 (▲44.6)	0.0 (▲134.0)	18.7 (▲84.3)
平年	6.1	3.2	3.4	45.3	134.0	103.0

※四捨五入の関係で合計が合わないことがある

3. 今冬最大電力実績と見通しとの比較

- 今冬の見通しでは、2017年度並みの厳寒（日平均気温▲1.6°C）となった場合の最大電力を542万kWと想定。2月はそれを上回る気温となったことから最大電力実績は512万kWとなり、見通しを31万kW程度下回った。※四捨五入の関係で合計が合わないことがある
- 差異の内訳は、気象影響分が▲27万kW程度、その他（経済影響等）が▲4万kW程度と推定。

<今冬最大電力実績と見通しとの比較>



こたえていく。かなえていく。

